

保護者・全児童・教職員を対象に、今年度の本校の教育についてアンケートを実施し、検証しました。概要を、以下の通り報告させていただきます。紙面の関係で一部の紹介となりますことをご了承ください。

(アンケート回収数 児童178人 保護者135人〔兄弟でそれぞれ回答する項目についてはのべ174人〕 教職員14人)

※各質問に対して、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の合計を、肯定する割合(%)の数字として表しています。

1 学校生活について

97%の児童・保護者が学校生活を「楽しい」と回答しています。その一方で、「(あまり) 楽しくない」という児童が、4%(6名)います。

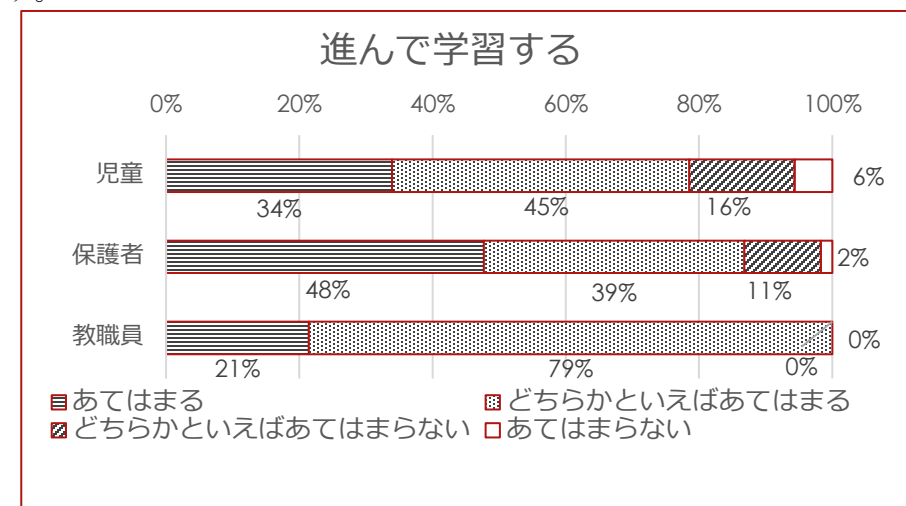
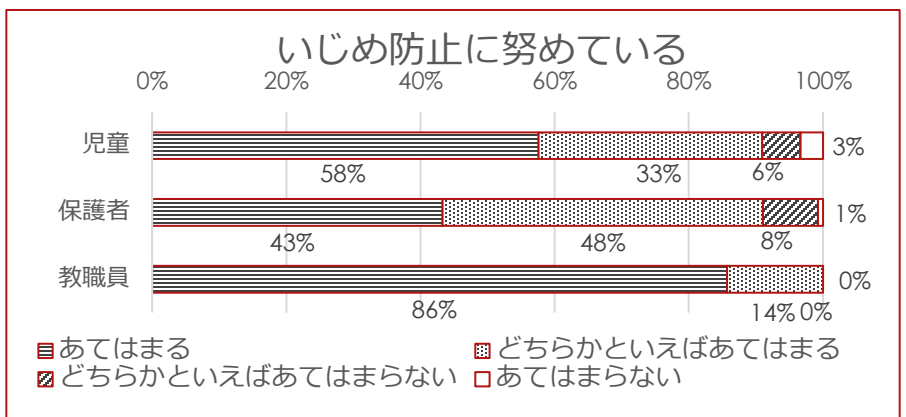
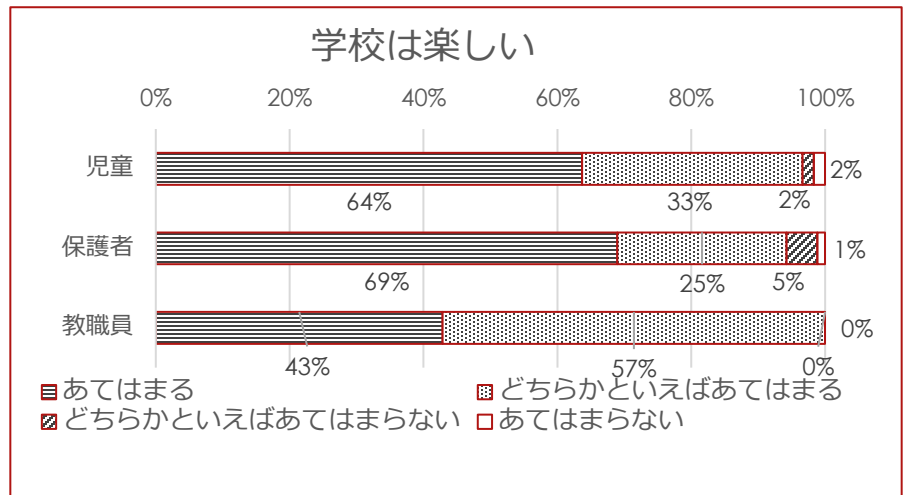
いじめ防止の取組については、「いじめが起きないよう気を付けている」と答えた児童が、91%います。「学校が、いじめや体罰防止に努めている」と保護者の91%が回答しています。今後も、日々の児童の様子をよく見て、アンケートや教育相談等を実施し、いじめ・体罰防止に努め、保護者と連携しながら、児童が安心して生活できる学校づくりを目指していきます。

あいさつについては、「自分は進んであいさつをしている」と90%の児童が、「学校は、あいさつ運動に積極的に取り組んでいる」と95%の保護者が回答しています。

地域の皆様・交通指導員・保護者の皆様には、朝の交通立哨当番時にあいさつの声かけをありがとうございます。今後も学校・家庭で呼びかけ、地域の方へもあいさつができるよう、あいさつに対する意識の向上を図っていきます。

2 学習面について

保護者の87%が、児童が学習に意欲的であると認識しています。一方、「進んで学習している」と回答した児童は79%で、「(あまり) 意欲的でない」と答えた児童が22%(38名)います。児童が、意欲的に学習に取り組み、互いに意見を交わし問題を解決していくような「主体的・対話的で深い学び」につながる授業づくりを目指しています。授業が分かる楽しさ



を感じられるよう努めていきます。

また、一人1台のタブレットを使い、文章やプレゼンテーション作成、写真撮影、調べ学習など効果的に活用しています。そして、本年度より、AIドリルが導入され、児童は、朝の学習タイムや授業の時間に、活用しています。児童は自ら進んで学習したり、苦手なところに繰り返し取り組んだりしながら学習を深めています。

家庭学習については、「宿題など家でもきちんと勉強している」という児童が89%、「子どもは、家庭学習をしている」という保護者は、83%です。学年に応じて、宿題だけでなく自主的に学習する児童を、ご家庭の協力をいただきながら育てていきたいと考えています。

また、読書について、「本を読むのが好きである」と74%の児童が回答しています。始業前の朝の読書タイムや読み聞かせボランティア「めだかの学校」による絵本の読み聞かせの機会を設けたり、読書の魅力を伝えたりして、読書を通しての知的好奇心の向上を促していきます。

3 防災について

防災について、「地震・火災などが発生したときどうしたらよいかわかっている」という児童が98%です。「学校は、子どもの命を守るために、各種避難訓練や危機に対する備えが行われている」という保護者が99%です。各学期に地震避難訓練を行い、うち2回は津波避難訓練も合わせて行い、地域の方や保護者の協力を得て高宮神社や林之峯の高台へ走って避難する訓練を行っています。その他、台風避難訓練、火災避難訓練を行っています。危機意識をもち、いざというときに命を守る行動ができる児童の育成を目指しています。

4 その他

次のようなご意見をいただきました。

- ・「運動会で児童用に使用するテントを購入してみても、いかがでしょうか」回答：今年度熱中症対策として児童用テントを他団体よりお借りし設置しました。今後順次予算内でテントを購入していきます。
- ・「下校時刻に変更がある時〇時間〇分授業後下校等の表記は分かりづらいので、下校時刻をお知らせください」回答：下校時刻に変更がある時は、〇時間〇分授業ではなく、時刻で知らせるように気を付けます。

その他、宿題の内容や量、生活のきまり、家庭への連絡方法等についてのご意見をいただきました。今後の参考にさせていただきます。ありがとうございました。今後ともご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

